

東京教区時報

第1205号
2011年4月24日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇堅信受領

4月17日 主教座聖堂
▽小山大輔▽上田彦▽上田あゆみ(諸聖徒)▽伏見優穂▽白石悠紀子(神田)▽山崎恵実▽大坂恵子▽加納久美▽田中友子(聖マーガレット)▽樋田貫次(聖愛)▽折居茉莉耶▽折居圭耶(聖十字)▽高田蛭(聖バルナバ)▽小池剛▽小池律子▽辻里江(聖パウロ)▽青野悦人▽伊東洋子▽杉本敬子▽多方由美子▽藤曲寛子(三光)▽大井学(聖アンデレ)▽菅原裕里▽中村亮吾▽西田博子▽山本雅美(聖バトリック)▽安部剛(神愛)
▽タの黙想会 27日(水) 19時、目白聖公会。指導||雨宮慧カトリック東京大司教区司祭。
照会|| neko3ja@gmail.com

【GW中のイベント】①

▽山手G||グリーンデイ・ピクニック 29日10時~15時(雨天中止)、聖公会神学院中庭。会費500円(小中学生300円)。合同で豚汁を作る。主 食・水筒・おわん等持参。幹事 || 聖マーガレット Ⅷ03(3334) 2812。
▽多摩G||ピクニック(下町の教会の動きに向き合う) 29日11時~14時 月島聖公会、15時~16時 浅草聖ヨハネ教会、弁当・飲物・敷物等持参。幹事||小金井Ⅷ042(381) 3256。
▽環状G||合同礼拝(今、ひとりひとりができること) 東日本大震災被災地・被災者のための祈り 5月1日14時半~16時、清瀬聖母教会。メッセージ||大畑喜

道教区主教。照会Ⅷ0424(93) 7472・会場教会。

▽真光教会東日本震災復旧支援チャリティコンサート 5月1日(日) 14時、同教会。演奏||北島千夏子(ピアノ)と声楽。入場料千円以上。照会Ⅷ090(2738) 5390・松田。

今週・来週の予定

| 4月24日~5月7日 | |
|------------|---------------------------------------|
| 24(日) | 復活節 巡回 聖アンデレ教会 主教巡 防止委員会 |
| 25(月) | ハラスメント委員会 礼拝音楽委員会 実行委員会 フェスティバル |
| 26(火) | フエ座委員会 常務委員会 特別委員会 |
| 27(水) | 分金多摩G 牧師協議会 休多摩G 牧師協議会 |
| 29(金) | 休多摩G 牧師協議会 |
| 30(土) | 会計担当者連絡会 |
| 5月1日 | (日) 復活節 2 主日 主教巡回 清瀬聖母教会 |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

主イエス・キリストのご復活おめでとうございませう。先週の合同堅信式では30人余りの方が受按されました。大勢の受按者、これは神が私たちに見せて下さっている救いの現実そのもののように感じました。大袈裟な表現かもしれませんが、次から次へと「復活の主を信じます。神の愛を信じ、悪に抵抗して戦います」という宣言を聞いて、体が震えてきました。神の望みが現実になっっているという喜びに満たされました。

◇イースターメッセージ◇

今日こそ神がつくられた日 喜び歌えこの日を共に

道 喜 畑 大 主教

さまざまな辛いことがたくさんあるのも事実ですが、そんな人生の現実の中で、神が確かに私たちを愛して、希望の計画を着々と実現しつつあることの表れがこの多くの方々の信仰宣言に如実に現れていると思えます。

今日は共に打ちそろって喜びの日を祝うことができることを感謝したいと思います。「神の右の手は高き上がり、その右の手は力を示す」。「私は死なず、私は生きる。神のわざは勝利している」。みんなでこのことを宣言しましょう。復活の主は死の世界を打ち破り、生きるものとなりました。そして私たちもその恵みに与かっています。それを信じるなら、どんな悩み、恐れ、対立、すべての孤独も、死の恐怖さえありません。すべてを乗り越えることができるのです。

今回の震災によって次々と流れてくるニュースは神の無力さを、悪魔の勝利を宣言しているかのようにも見えます。「神はなんてひどいことなされるのか」皆さんの中にもその様に思われた方も多いと思います。しかし信仰を揺るがすような闇とか恐れとか、さま

(東京教区主教)

《ようこそ、東京教区へ》

4月から当教区で勤務されている橋本司祭より「ひとこと」挨拶」を寄稿いただき紙上に紹介を。

***橋本克也司祭** 復活の信仰は、失われることが絶望や終わりではなく、新たな希望への出発となることを証しています。

私は4月から神田キリスト教会の副牧師に赴任いたしました司祭橋本克也です。戦後、中国大陸から引き上げてきて、横浜で育ちました。最初の任地は千葉県の鴨川聖公会でした。その後、横浜聖アンデレ、小田原、静岡、伊豆、松戸と、41年間横浜教区の教会で働かせていただきましたが、この度、東京教区の教役者に加えさせていただくことになりました。途中で視力

を失った盲人の司祭を受け入れてくださった東京教区と神田キリスト教会に感謝いたします。

神に愛されているのは、いつでも「今」の私です。また神を愛する人であろうとするのも、「今」の私でしかありません。弱く、無力で、粗末で足りない自分こそが、神に愛され、神を愛する資格があることをおもえます。信仰を生きたいと思っております。私達が、さまざまな困難な時代に共感し、共に生きようとする群れであり、私も真実に神の愛を受け、また伝えられる信仰者、聖職者として歩みたいと願っています。皆様よろしくお願いいたします。

◇**東日本大震災・教区支援本部「補給部」** 16日、聖アンデレ

教会副牧師館へ移転。TEL090(1264)7353へ変更なし。
信仰と生活委員会報告
(4月14日)

*宣教主事・各委員会・教会グループ等報告。

*冊子『裸足の宣教』の点訳版を作成した。内容のチェックと校正をする必要がある。

*『子ども聖歌集』作成のため保育園と幼稚園にお願いしたアンケートには熱心な回答が寄せられている。

*「子どもの聖歌を歌う会」チラシを確定。プログラム案を協議した。

*中高生キャンプは震災のボランティアキャンプとはせずにサマー高生招待の可能性を検討。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】 82

東日本大震災

東京教区支援対策本部より

震災発生より1ヶ月以上を経過いたしました。継続するかなり大きな余震の中で、被災地の皆様、またそれを支えようとする皆様の物心両面での痛みは今なお大きなままであります。わたしたち本部も何か支援活動を開始しようとしています。

が、未曾有の被害の中で、明確な支援の方向性をなかなか見い出せないうえです。やっと管区レベルの本格的な支援体制が動き始め、現地へのチームの派遣等が動き始めました。東京教区の対策本部としては、この管区レベルの動きに出来るだけの協力をし、支援活動を進めてい

きたいと考えています。東北教区、北関東教区の教会の補修・復興も大切ですが、それ以上に教会として被災地の厳しい状況の中で何が出来るのかが問われています。信仰に基づく奉仕と献身の本質が問われているように思います。全聖公会が協力してこのことに向かうということが、主教会、管区の思うところだと理解しています。

現在まで、皆様のご協力により献げられた支援物資は、他教区分も含め約25トン、小名浜、仙台、釜石、福島県新地地区、南三陸町に送らせていただきました。これらの働きはボランティアとして活動して下さった多くの方々のご努力で行うことが出来ました。心から感謝いたし

ます。また、地震の被災者でもあるアジア学院にもご協力いただき、卵、肉などを送らせていただきました。今後については支援物資全体のあり方を管区とも相談しながら、検討しております。これまでの様々な協力にあらためて感謝いたします。

今後は、東京教区からも人的支援をした管区のチームにより、現地での支援プログラムが具体化されていく予定ですが、その中で人的、経済的な様々なニーズに皆様のご協力を得ながら、東京教区として積極的に応えていきたいと考えております。ぜひ皆様のお祈りとご協力をお願いしたいと思います。

教区支援対策本部長

後藤 務